



2025年3月期決算

2025年5月13日
チヅツ株式会社

目次 1 / 2

1. 連結決算

- (1) 連結決算対象会社
- (2) 連結経営成績
- (3) 特別利益、特別損失
- (4) セグメント別業績
- (5) 連結財政状態
- (6) 連結キャッシュフロー
- (7) その他の情報
- (8) 2026年3月期の連結・個別業績予想

目次 2 / 2

2. 単体決算

- (1) 単体決算
- (2) 特別損失
- (3) 個別財政状態

(参考) JNC(株)連結業績

JNC(株)個別業績

1. 連結決算

1. 連結決算 (1) 連結決算対象会社

連結子会社26社、持分法適用会社18社の計44社

連結子会社 26社		
JNC	オージェイケイ	商事
高機能材料	JNCフィルター	日祥
JNCマテリアル	広州 E S 繊維	千葉ファインケミカル
韓国JNC	捷恩智纖維貿易（上海）	グリーンエネルギー
台湾捷恩智	JNC Nonwovens (Thailand)	白川クリーンエナジー
捷恩智液晶材料（蘇州）	捷恩智（上海）企業管理	白川SPC1
捷恩智新材料科技（蘇州）		白川SPC2
アグリ・ライフイノベーション	ケミカルマテリアル	
JNCファイバーズ	JNC石油化学	エンジニアリング
九州化学工業	シージーエスター	JNCエンジニアリング
ジェイカムアグリ	JNC America	
JNC開発	JNC North American	
持分法適用会社 18社		
高機能材料	E S I V LP (米国)	ケミカルマテリアル
第三化成	E S F V ホールディングス	日本ポリプロ
SK JNC Japan	E S I V (欧州)	京葉ポリエチレン
SK materials JNC	E S F V (香港)	エンジニアリング
長沙道安捷新材料	E S I V (タイ)	サンワ工事
アグリ・ライフイノベーション	芸愛絲維順貿易（上海）	アル・ビー・エス
E S I V (日本)	芸愛絲維順（蘇州）	JNCセントラル
E S I V Inc (米国)		決算短信：添付資料 p 11~12

1. 連結決算 (2) 連結経営成績

	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高	1,314億42百万円	1,467億66百万円	153億24百万円 (11.7%増収)
営業利益	12億27百万円	43億88百万円	31億61百万円 (257.6%増益)
経常利益	4億02百万円	49億78百万円	45億76百万円
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△28億95百万円	7億21百万円	36億16百万円

決算短信：表紙 p 1 添付資料 p 2、16

1. 連結決算 (3) 特別利益、特別損失

【特別利益】

- ・ 固定資産売却益 1億93百万円
(JNCファイバーズ（株）所有福利厚生施設の売却)

1. 連結決算 (3) 特別利益、特別損失

【特別損失】(38億23百万円)

(内訳)	水俣病補償損失	24億78百万円	
	事業構造改革費用	7億52百万円	(捷恩智無紡材料（常熟）出資持分譲渡)
	減損損失	2億84百万円	(水俣／八幡焼却場停止による建物等)
	災害による損失	1億56百万円	(2022年台風14号被害復旧費)
	固定資産処分損	1億52百万円	(守山／第1工場撤去費用等)
	計		38億23百万円

参考) ナフサ価格の推移

2022年	1～ 3月	64,600円／KL
	4～ 6月	86,100円／KL
	7～ 9月	81,000円／KL
	10～ 12月	72,500円／KL
2023年	1～ 3月	66,500円／KL
	4～ 6月	67,500円／KL
	7～ 9月	63,600円／KL
	10～ 12月	72,800円／KL
2024年	1～ 3月	72,500円／KL
	4～ 6月	79,000円／KL
	7～ 9月	76,900円／KL
	10～ 12月	73,200円／KL
2025年	1～ 3月	73,400円／KL

参考) 為替の推移

		期中平均	期末
2022年	1～ 3月	117.8円／USD	122.4円／USD
	4～ 6月	131.3円／USD	136.7円／USD
	7～ 9月	139.4円／USD	144.8円／USD
	10～ 12月	139.9円／USD	132.7円／USD
2023年	1～ 3月	133.4円／USD	133.5円／USD
	4～ 6月	139.6円／USD	145.0円／USD
	7～ 9月	145.6円／USD	149.6円／USD
	10～ 12月	146.1円／USD	141.8円／USD
2024年	1～ 3月	149.9円／USD	151.4円／USD
	4～ 6月	158.2円／USD	161.1円／USD
	7～ 9月	146.7円／USD	142.7円／USD
	10～ 12月	154.2円／USD	158.2円／USD
2025年	1～ 3月	151.2円／USD	149.5円／USD

(参考) 年度決算 連結経営成績推移 (2015年度～2024年度)

単位：百万円

年 度	売上高	営業利益	経常利益	純利益	年 度	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2015年	171,776	12,882	13,766	5,520	2020年	132,011	2,486	3,291	△1,143
2016年	153,999	6,134	7,531	△1,406	2021年	137,551	5,448	9,691	12,139
2017年	159,984	2,898	4,760	△3,318	2022年	144,237	6,053	7,538	△1,810
2018年	155,025	△3,787	△1,391	△8,151	2023年	131,442	1,227	402	△2,895
2019年	144,852	△759	△1,285	△11,906	2024年	146,766	4,388	4,978	721

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

単位：百万円

売上高	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
高機能材料	18,509	17,408	△1,101	△5.9%
アグリ・ライフイノベーション	61,749	64,991	3,242	5.3%
ケミカルマテリアル	30,688	40,069	9,381	30.6%
商事	9,525	8,840	△685	△7.2%
グリーンエネルギー	6,498	7,146	648	10.0%
エンジニアリング	4,470	8,308	3,838	85.8%
売上高	131,442	146,766	15,324	11.7%
経常利益	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
高機能材料	711	1,472	761	107.0%
アグリ・ライフイノベーション	△1,973	520	2,493	-%
ケミカルマテリアル	△81	726	807	-%
商事	417	465	48	11.5%
グリーンエネルギー	2,178	2,945	767	35.2%
エンジニアリング	986	831	△155	△15.7%
調整額	△1,837	△1,982	△145	-%
経常利益	402	4,978	4,576	-%

決算短信：添付資料 p 2~3、p 11~12、29~31

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

高機能材料

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	185億09百万円	174億08百万円	△11億01百万円	△5.9%
経常利益	7億11百万円	14億72百万円	7億61百万円	107.0%

- 液晶材料は、TV用途で顧客の工場停止や減産の影響を受け売上は減少しましたが、ノートブックPCやPCモニター用途といったIT向け高付加価値品の出荷が堅調に推移したことに加え、有機ELの合弁会社でも収益が確保できた結果、経常利益では前期比で増加となりました。
- シリコン製品は、プリントサーキットボード用途では市場の減速が続き、顧客における在庫調整や稼働率低下の影響を受けましたが、コンタクトレンズ用途、コーティング用途等の出荷が好調となった結果、売上は前期並みとなりました。

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

アグリ・ライフイノベーション

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	617億49百万円	649億91百万円	32億42百万円	5.3%
経常利益	△19億73百万円	5億20百万円	24億93百万円	- %

- 肥料は、国内では流通在庫滞留の解消と原料価格低下による製品価格の値下げに伴い出荷が回復基調となつたほか、海外向けの出荷も回復し、売上は増加しました。
- ライフケミカル製品は、液体クロマトグラフィー用充填剤が、ワクチンや抗体医薬などバイオ医薬品の製造工程向け需要の高まりから、国内外ともに売上は増加しました。
- 繊維製品は、大人向け紙おむつやフェミニンケア製品用途、ペットシート用途等は堅調に推移したものの、国内・中国市場ともに子供向け紙おむつ用途の需要が低迷したほか、中国市場では価格競争の継続により販売数量が伸び悩み、売上は減少しました。その他、不織布では国内における設備の停止、中国における生産体制の最適化など、事業構造の再構築に取り組みました。

決算短信：添付資料 p 2~3、p 11~12、29~31

1. 連結決算（4）セグメント別業績

ケミカルマテリアル

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	306億88百万円	400億69百万円	93億81百万円	30.6%
経常利益	△81百万円	7億26百万円	8億07百万円	- %

- オキソアルコールは、生産設備の大型定期修理の実施に加え、アジア市場の冷え込みにより輸出が大幅に減少したほか、国内も住宅や自動車分野を中心に需要が低迷し、売上は減少しました。可塑剤は、住宅の低迷に加え、海外から安価な輸入品が増加して売上は減少しました。塩化ビニル樹脂ライセンスは、インドを始めとするライセンス案件の成約や成約済み案件の立上げが順調に進捗しました。
- ポリプロピレンは、主要な供給先である自動車分野の大幅な減産に加え、物価高騰による個人消費の低迷と安価な輸入品の流入により、出荷が減少しました。ポリエチレンは、安価な輸入品の増加に加え、主力用途であるフィルムの製品輸入が影響したことから、出荷は低調となりました。

尚、今期から前連結会計年度末に連結子会社となったシージーエスター株式会社の売上高が通期で計上された結果、前期比で増収となっています。

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

商事

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	95億25百万円	88億40百万円	△6億85百万円	△7.2%
経常利益	4億17百万円	4億65百万円	48百万円	11.5%

- 商事事業は、オクタノールの販売が回復しましたが、主力のポリプロピレンでは自動車産業向け、生活用品用途で需要が低調となったほか、供給元における大型定期修理の影響もあり、売上は減少しました。

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

グリーンエネルギー

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	64億98百万円	71億46百万円	6億48百万円	10.0%
経常利益	21億78百万円	29億45百万円	7億67百万円	35.2%

- グリーンエネルギー事業は、九州地区における水力発電所の安定運転に取り組み、気象状況に応じた保安停止期間などはありましたが、年間を通じて順調に稼働したことから、売上は増加しました。

1. 連結決算 (4) セグメント別業績

エンジニアリング

	2024年3月期	2025年3月期	前期比	増減率
売上高	44億70百万円	83億08百万円	38億38百万円	85.8%
経常利益	9億86百万円	8億31百万円	△1億55百万円	△15.7%

- ・ エンジニアリング事業は、前期に受注した使用済みプラスチックのリサイクル設備に関する大型案件等、手持案件の工事が順調に進捗したことから、売上は増加しました。

前期の経常利益には複数の大型工事が完工したことに加え、工事費削減効果が含まれています。

結果、今期は前期比で減益となりました。

1. 連結決算 (5) 連結財政状態

	2024年3月期	2025年3月期	前期末比
総資産	2,695億28百万円	2,529億94百万円	△165億33百万円
総負債	3,878億40百万円	3,711億45百万円	△166億95百万円
純資産	△1,183億12百万円	△1,181億50百万円	1億62百万円
自己資本比率	△48.0%	△51.1%	—
1株当たり純資産	△831円32銭	△830円98銭	—

1. 連結決算 (6) 連結キャッシュフロー

営業活動によるキャッシュ・フロー (80億55百万円)

営業活動によって得られた資金は、80億55百万円となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益、減価償却費によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー (△87億23百万円)

投資活動によって使用された資金は、87億23百万円となりました。

これは主に、グリーンエネルギー事業のF I T化投資によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー (△38億33百万円)

財務活動によって使用された資金は、38億33百万円となりました。

1. 連結決算 (6) 連結キャッシュフロー

水俣病補償によるキャッシュ・フロー (△12億80百万円)

(内訳)	患者医療費等	△12億78百万円
	公的債務返済	△1百万円
	解決一時金返済	一百万円
	救済一時金返済	一百万円
	計	△12億80百万円

現金及び現金同等物の期末残高

327億72百万円

1. 連結決算 (7) その他の情報

①水俣病被害者への一時金の支払について

水俣病被害者救済等のための「特別措置法」（平成21年法律第81号）及びその救済措置の方針に基づく、当社の2024年4月1日から2025年3月31までの一時金の支払はありませんでした。

なお、2014年8月29日に環境省より、救済措置対象者の判定が熊本県及び鹿児島県で終了した旨の公表がなされていますが、支払い申請の受け付けは継続しています。

1. 連結決算 (7) その他の情報

②水俣病訴訟について

水俣病に罹患しているとする原告から、当社、国及び熊本県に対して熊本地方裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所に損害賠償請求訴訟が提起されております。

各裁判所における訴訟の状況は、以降のシートでご説明します。

1. 連結決算（7）その他の情報

②水俣病訴訟について

a. 熊本地方裁判所に提起された訴訟について

2013年6月20日以降数次（第1～14陣）にわたり、水俣病不知火患者会に属する原告等の合計1,350名から行われた提訴の損害賠償請求金額は、合計60億75百万円となっております。

なお、そのうち2013年6月20日、9月30日（第1、2陣）に提起されておりました損害賠償請求訴訟につきましては、2024年3月22日付で原告の請求をいずれも棄却する旨の判決があり、原告（合計143名）は本判決を不服として、2024年4月4日付で福岡高等裁判所に控訴を行いました。

1. 連結決算 (7) その他の情報

②水俣病訴訟について

b. 東京地方裁判所に提起された訴訟について

2014年8月12日以降数次（第1～7陣）にわたり、水俣病不知火患者会に属する原告等の合計74名から行われた提訴の損害賠償請求金額は、合計3億33百万円となっております。

1. 連結決算（7）その他の情報

②水俣病訴訟について

c. 大阪地方裁判所に提起された訴訟について

2014年9月29日以降数次（第1～12陣）にわたり、水俣病不知火患者会に属する原告等の合計128名から提起された損害賠償請求訴訟（損害賠償請求金額合計5億76百万円）について、2023年9月27日に原告128名の請求の一部を認容し、原告1名につき275万円（合計金額3億52百万円）及びこれに対する遅延損害金の支払いを命ずる判決の言い渡しを受けました。

本判決には仮執行宣言が付されており、強制執行停止のため、当社は2023年10月17日に3億52百万円を供託いたしました。

また、本判決においては、当社の主張に理解を得られていないことから、当社は2023年10月4日付で大阪高等裁判所に控訴いたしました。

1. 連結決算 (7) その他の情報

③連結子会社（特定子会社）の持分譲渡について

2024年12月31日に、当社連結子会社のJNCファイバーズ株式会社は、保有する捷恩智無紡材料（常熟）有限公司の全出資持分を大源新材料科技(揚州)有限公司に5千万元で譲渡しております。

決算短信：添付資料 p 4、p 27~28

1. 連結決算（7）その他の情報

④連結子会社の持分譲渡並びにディスプレイ関連液晶の全特許及び その他知的財産権の譲渡に関する基本合意書の締結について

当社連結子会社のJNC株式会社（以下、「JNC」）は、同じく当社の連結子会社であるJNC石油化学株式会社が保有する、捷恩智液晶材料（蘇州）有限公司及び捷恩智新材料科技（蘇州）有限公司の全出資持分を、上海飛凱材料科技股份有限公司（以下、「PhiChem」）の液晶事業子会社である江蘇和成顯示科技有限公司（以下、「HCCH」）に合計1.7億元で譲渡し、この譲渡価額に見合った出資持分5.10%を上限とした出資をJNCがHCCHに対して行うこと、また、JNCが所有するディスプレイ関連液晶の全特許及びその他の知的財産権をHCCHに2億元で譲渡することについて、2025年3月24日にPhiChemと基本合意書を締結いたしました。

引き続きJNCは、譲渡した特許及びその他知的財産権についてHCCHからライセンスを受け、中国本土以外の市場において液晶事業の展開を図ってまいります。

1. 連結決算（8）2026年3月期の連結・個別業績予想

2026年3月期の連結・個別業績予想につきましては、不確定な要素があるため、現段階では合理的な予想値の算定を行うことは困難であると判断し、未定としております。

業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

決算短信：表紙 p 1、2・添付資料 p 5

2. 单体決算

2. 単体決算 (1) 単体決算

	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高	—	—	—
営業利益	△3億48百万円	△3億28百万円	20百万円
経常利益	11億98百万円	11億97百万円	△1百万円
当期純利益	△15億11百万円	△11億18百万円	3億93百万円

決算短信：表紙 p 2・添付資料 p 34

2. 単体決算 (2) 特別損失

特別損失および未処理損失は次の通りです。

百万円単位未満切捨て

特別損失		24億78百万円
水俣病被害者救済一時金		- 百万円
水俣病補償関係		24億78百万円
(内訳)	補償金等	12億78百万円
	公的融資金利	41百万円
	解決一時金金利	2億08百万円
	救済一時金金利	9億50百万円

未処理損失		△1,925億円
(内訳)	水俣病関係損失累計額	△4,222億円
	事業活動による利益	2,296億円

2. 単体決算 (2) 特別損失

億円単位未満切捨て

新規認定患者		0名
公的債務残高の状況（2025年3月末）		2,026億円
(内訳)	元本	1,910億円
	金利	116億円

当期の公的債務返済状況

全額支払猶予措置を講じていただいています。

2. 単体決算 (3) 個別財政状態

	2024年3月期	2025年3月期	前期末比
総資産	620億51百万円	621億56百万円	1億05百万円
純資産	△1,826億73百万円	△1,837億92百万円	△11億18百万円

前期末比	総資産	法人税・患者補償の支払いを行いましたが、JNC(株)の未収配当計上により増加しました。
	純資産	当期に発生した純損失の分だけ減少しました。

参考. JNC(株)連結業績

	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高	1,314億42百万円	1,467億66百万円	153億24百万円 (11.7%増収)
営業利益	15億75百万円	47億16百万円	31億41百万円 (199.4%増益)
経常利益	10億05百万円	55億81百万円	45億76百万円 (455.3%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	4億17百万円	36億40百万円	32億23百万円 (772.9%増益)

決算短信：表紙 p 3 ・添付資料 p 40

参考. JNC(株)個別業績

	2024年3月期	2025年3月期	前期比
売上高	543億06百万円	496億40百万円	△46億66百万円 (△8.6%減収)
営業利益	5億53百万円	7億66百万円	2億13百万円 (38.5%増益)
経常利益	18億41百万円	18億11百万円	△30百万円 (1.6%減益)
当期純利益	13億77百万円	5億83百万円	△7億94百万円 (△57.7%減益)

以 上